

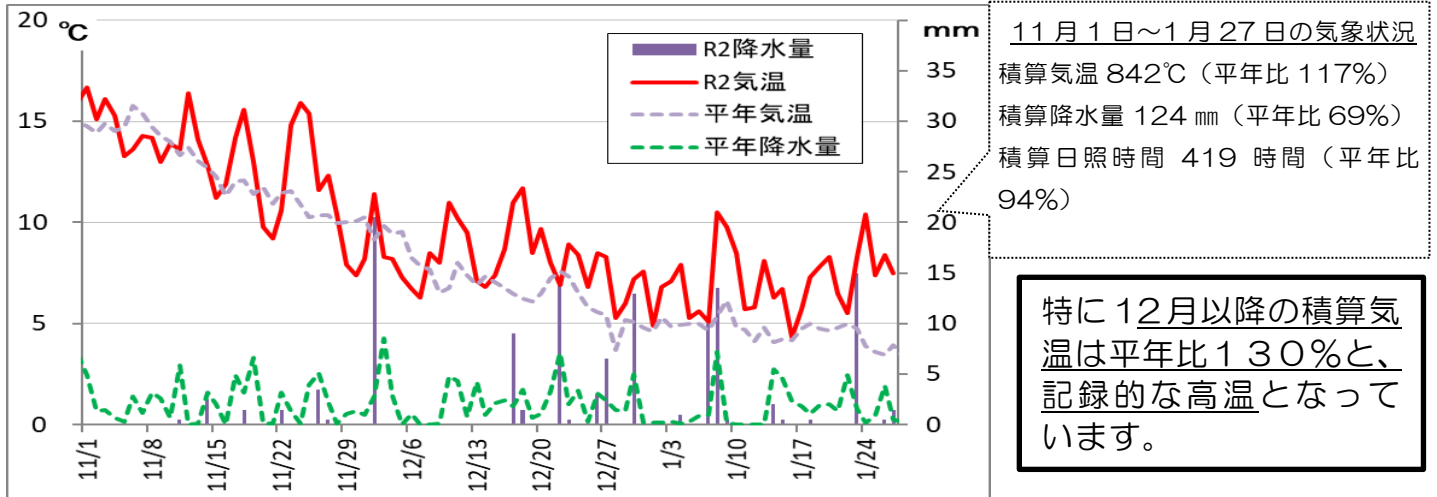
水田たより 2月号

令和2年2月3日

桑名地域農業改良普及センター 西山、高橋、大野、鷲野 (TEL: 0594-24-3642)

暖冬で麦の生育は旺盛です。積極的な追肥で収量向上を。

気象概要と麦の生育状況



■生育基準田の生育状況 (11月上旬播種)

令和2年1月28日時点

作物	品種	場所	莖数(本/m ²)	葉齢(葉)	葉色
小麦	さとのそら	長島町	772 (多い)	7.6 (早い)	50.8 (濃い)
小麦	あやひかり	東員町	722 (多い)	5.8 (やや早い)	42.5 (平年並)
大麦	ファイバースノウ	いなべ市大安町	871 (多い)	7.9 (早い)	49.0 (濃い)

※ () は平年(直近5か年の平均値)との比較

- ・麦の生育は早くなっており、莖数と葉齢は前年の麦の2月中旬頃とほぼ同じ値となっています。
- ・ほ場による生育差が大きく、**播種の早いほ場ほど**葉齢がかなり進んでいます。

生育旺盛な麦の莖数や葉色を維持するために、追肥を行う必要があります。

■今後の管理

<肥効調節型肥料(麦エムコート35等)の場合>

暖冬の影響で麦の生育が進みすぎていて、肥効調節型肥料を施用したほ場でも肥料切れとなりそうのため、1月までに追肥をしていない場合は**穂数確保のために**2月中旬までに必ず追肥をしましょう。

内容	時期	窒素目安量	施用量(オール14の場合)
追肥(肥料切れ防止)	2月中旬頃まで	2kg/10a	15kg

<分施の場合>

11月上旬播種の麦は概ね5~7葉期で幼穂形成期を迎えています。2月上旬は**粒数確保**、3月中旬は**登熟歩合向上・粒の充実向上**のために積極的な追肥をしましょう。

内容	時期	窒素目安量	施用量(オール14の場合)
1回目の追肥	2月上旬	2kg/10a	15kg
2回目の追肥	3月中旬頃	1.5~2kg/10a	10~15kg

3月中旬の追肥は最後になるのでリン酸・カリの補充のため化成肥料がおすすめです。

<ホームページにおいて、水田たよりや他の情報も掲載しております。桑名普及でご検索ください>